

講義科目名称： 経営システム設計

科目コード： 50690

英文科目名称： Systems Analysis and Design Methods for Business

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1・2年後期	1・2	2	選択
担当教員			
山岸 祐己			
添付ファイル			
講義概要			
経営システムの分野では、情報通信技術の進展にともない、新たなビジネスモデルや、単なる業務の効率化ではなく競争優位にたつための戦略的経営情報システムが構築されている。本講義では、情報システム開発の上流工程である先行開発について、事例を対象とした演習により一連のデータ分析作業を実施し、システムの企画や改善提案などの実務に活用するための実践的ノウハウを習得する。以上のアクティブラーニング（AL）を活用して経営システムの先行開発プロセスを理解する。この科目は、情報システム開発分野の実務経験のある教員が担当する科目である。 本科目はアントレプレナーシップ教育における 情報収集力/分析力/課題発見力・解決力/経営学/マーケティング/オペレーションマネジメント/データサイエンス/開発・評価 に該当する内容を扱う			
授業計画			
1-3 データの性質 ・誤差とばらつき ・バイアス ・因果関係 AL:① プログラムの作成 4-6 データ分析の基礎 ・データの扱い ・データの振る舞い ・多変量データ AL:① プログラムの作成 7-8 データの解釈 ・データ分析の罫 ・データ解釈の罫 ・データ活用の罫 AL:① プログラムの作成 9-11 データ分析と数理モデル ・基礎的な数理モデル ・確率モデルと統計モデル ・時系列モデル AL:① プログラムの作成 11-13 データ可視化 ・可視化プロセス ・指標の性質や選び方 AL:① プログラムの作成 14 数理モデルの設計 ・パラメータ推定 ・モデルの評価 AL:① プログラムの作成 15 発表 AL:⑤⑥ プレゼンテーションと質疑応答			
授業形態			
講義および演習。講義で基礎的な事項を解説し、演習を主体にして実践的な知識やノウハウを身につける。 講義実施方法：静岡駅前キャンパスで実施 アクティブラーニング：①:14回, ②:0回, ③:0回, ④:0回, ⑤:1回, ⑥:1回			
達成目標			
(1) データ分析に基づいた新たな経営情報システムの企画や改善提案ができること (2) 企画や改善提案に基づき作成されたシステムやデータ分析手法のレビュー・評価ができること			
評価方法・フィードバック			
演習課題の結果を70%、プレゼンテーションを30%として評価する 原則として、課題などのフィードバックは次回以降の授業内で実施する			
評価基準			
評価基準は以下の通りとする。 「秀」：達成目標の 90% 以上に到達している 「優」：達成目標の 80% に到達している 「良」：達成目標の 70% に到達している 「可」：達成目標の 60% に到達している 「不可」：達成目標の 60% 未満に到達している			
教科書・参考書			
講義スライド			
履修条件			
なし			
履修上の注意			
ノートパソコンを持参すること 講義実施方法：静岡駅前キャンパスで実施			
準備学習と課題の内容			
出題した課題に必ず取り組み、毎回の授業ごとに予復習には少なくとも3時間以上の時間をかけること。			
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）			
知識・理解:30%, 思考・判断:40%, 関心・意欲:10%, 態度:10%, 技能・表現:10%			